

3. 接続詞・接続助詞

3-1. 接続詞・接続助詞とは

1. 接続詞・接続助詞とは
2. 主な接続詞・接続助詞

3-2. 順接の接続詞

1. 「だから」・「そのため」・「したがって」 +練習問題
2. 「だから」の回避

3-3. 逆接の接続詞・接続助詞

1. 逆接の接続詞・接続助詞 +練習問題
2. 譲歩の逆接文 +練習問題

3-4. 列挙の接続詞

1. 列挙の接続詞 +練習問題
2. 列挙の接続詞の組み合わせ・連続 +練習問題
3. 列挙の注意点 +練習問題

3-5. 補足の接続詞

1. 補足の接続詞 +練習問題

3-6. おわりに

3-1. 接続詞・接続助詞とは

1. 接続詞、接続助詞とは

◆接続詞、接続助詞とは

- ・前の語句・文と、後ろの語句・文をつなぐ言葉
- ・後続く内容について予告する言葉

◆接続詞…後ろの文の先頭に置いて文をつなぐ

例) 日本語の勉強は難しい。でも、おもしろい。

日本語の勉強は難しい。だから、おもしろい。

◆接続助詞…文の切れ目である読点の直前に置いて文をつなぐ

例) 日本語の勉強は難しいが、おもしろい。

日本語の勉強は難しいから、おもしろい。

2. 主な接続詞・接続助詞

役割	役割の分類	接続詞の例	接続助詞の例
結果を示す	順接（予想に沿った結果、因果関係を示す） 3-2	だから、そのため、したがって	から、ので、て/で
	逆説（予想に反する結果を示す） 3-3	でも、しかし、ところが、（それ）にもかかわらず	が、けれど（も）、のに
内容を整理して示す	並列（似た事柄を並べる）	そして、それから、また	
	対比（対照的な事柄を並べる）	一方、これに対して、または	
	列挙（順番をつけて並べる） 3-4	まず、第一に、最初に	
読み手の理解を深める	提言（言い換えて説明する）	つまり、すなわち、あるいは	
	例示（例をあげる）	例えば、実際、特に	
	補足（付け加える） 3-5	また、さらに、ただし、なお	
	理由（理由を示す）	なぜなら、というのは、というのも	から、ので、て/で
全体の流れを示す	転換（話題を変える）	ところで、では、さて	
	結論（話をまとめる）	このように、以上のように	

3-2. 順接の接続詞

1. 「だから」・「そのため」・「したがって」

接続詞	だから	そのため	したがって
いつ使うか	前に述べたことが次に述べることの理由や原因である、と <u>主観的*な判断</u> を述べるとき	前に述べたことが次に述べることの理由や原因である、と <u>客観的*な事実</u> を述べるとき	前に述べたことが理由・原因で、 <u>必然的*にその結果になるという事実</u> を述べるとき、数学や哲学など論理的な結果を示すとき
後ろに続く文	事実、話し手の判断、命令、意志などいろいろな表現が使える	事実のみ 話し手の判断、命令、意志などは使えない	

* 主観的…自分だけの見方、考え方 客観的…データがあるなど皆が納得できる見方、考え方
必然的…必ずそうなる

1. 「だから」・「そのため」・「したがって」

正用例

- ①作文学習は、自分の考えを説明したいとき非常に役立つと思う。
だから、作文学習をしなければならぬと考えている。
⇒主観的判断
- ②作文学習は、自分の考えを説明したいとき非常に役立つ。その
ため、考えを整理するために学びたいという人が多い。
⇒客観的事実
- ③この作文クラスには定員がある。したがって、定員を超えた場
合は抽選で受講者が決まる。⇒必然的な結果

1. 「だから」・「そのため」・「したがって」

誤用例

作文学習は、自分の考えを説明したいとき非常に役立つと思う。そのため、作文学習をしなければならないと考えている。

修正例

作文学習は、自分の考えを説明したいとき非常に役立つと思う。だから、作文学習をしなければならないと考えている。

主観を述べる場合、客観性の強い「したがって・そのため」ではなく「だから」を使う。ただし、「だから」が使えるのは、SNSや友人へのメールなど、カジュアルな場面でやわらかい印象で書く(1.文体参照)場合のみで、レポートや論文では「だから」を使わない。→次頁につづく

2. 「だから」の回避

例

作文学習は、自分の考えを説明したいとき非常に役立つと思う。

だから、作文学習をしなければならないと考えている。

修正例

わたしは作文を学習しなければならないと考えている。

なぜなら、自分の考えを説明したいとき、非常に役立つと思うからだ。

レポートや論文で主観を述べる場合、「だから」ではなく、理由を示す接続詞「なぜなら」を使い、「～からだ」で文を終えると良い。

練習問題1-1

3-2. 順接の接続詞



以下の作文の【 】の接続詞の使い方が正しければ○を、正しくなければ×を()に書きなさい。

- ①()雨が降らず水不足が続いている。【そのため】、野菜の価格が上がっている。
- ②()日本企業で働きたい。【したがって】、今後はビジネス日本語も勉強したい。

《SNSへの書き込み》

- ③()川遊びは危険だ。【だから】、川では泳がないほうがいい。

練習問題1-1

3-2. 順接の接続詞

★★★

以下の作文の【 】の接続詞の使い方が正しければ○を、正しくなければ×を()に書きなさい。

- ①(○)雨が降らず水不足が続いている。【そのため】、野菜の価格が上がっている。
- ②(×)日本企業で働きたい。【したがって】、今後はビジネス日本語も勉強したい。

《SNSへの書き込み》

- ③(○)川遊びは危険だ。【だから】、川では泳がないほうがいい。

解答・解説

- ①○…客観的な事実
②×…書き手の主観を述べるときに「したがって」は使えない

解答例

「今後はビジネス日本語も勉強したい。なぜなら、日本企業で働きたいからだ。」

- ③○…書き手の主観的判断、SNS(カジュアルな場面×やわらかい印象)

練習問題1-2

3-2. 順接の接続詞



都会と田舎とどちらに住みたいか、理由とともに書きなさい。

①の文を「なぜなら」を使った文に変え、②に書きなさい。

① _____。

だから、_____。

② _____。

なぜなら、_____。

練習問題1-2

3-2. 順接の接続詞



都会と田舎とどちらに住みたいか、理由とともに書きなさい。

①の文を「なぜなら」を使った文に変え、②に書きなさい。

① わたしは山が好きだ。

だから、田舎に住みたい。

② わたしは田舎に住みたい。

なぜなら、山が好きだからだ。

練習問題1-3

3-2. 順接の接続詞



最近見たニュースについて、「そのため」・「したがって」どちらかの接続詞を使って三文程度で書きなさい。

練習問題1-3

3-2. 順接の接続詞



最近見たニュースについて、「そのため」・「したがって」どちらかの接続詞を使って三文程度で書きなさい。

解答例

【そのため】

台風15号が関東地方に上陸した。強風で多数の電柱が倒れ、電線も切れた。そのため、複数の地域で何日も停電が続いた。

【したがって】

今回の台風は風速40メートル以上の強風が観測された。鉄道会社には、風速が25メートル以上に達した場合運転を中止するという決まりがある。したがって、昨日は全ての在来線が午前の運転を見合わせた。

3-3. 逆接の接続詞・接続助詞

1. 逆接の接続詞・接続助詞

意味	a.予想される内容に反する結果			b.当然だと考えられる結果が予想に反して実現しない/しなかった		a,bの両方
接続詞	しかし	だが	ところが	でも	それにもか かわらず	が (接続助詞)
いつ 使うか	前の文で述べた内容の予想や期待に反する結果であることを述べる とき	前の文と後ろの文の内容、流れに ずれがある とき	後ろの文の内容が、前の文から予想・期待される結果と大きく違うとき、意外だという気持ちを示したいとき※	実現が当然だという予想や期待に反する結果について述べる とき	実現が当然だという予想や期待に反する結果について、抵抗感や意外な気持ちがあるとき ※	主に前の文で述べた内容の予想や期待に反する結果であることを述べる とき 「接続詞」より“反対”の意味は弱い(次項例文参照)
書/話	主に書き言葉	書き言葉	書き/話し言葉	主に話し言葉	書き/話し言葉	書き/話し言葉

※レポートや論文で使用する場合、後ろに続く文には、客観的な内容・事実だけを書く。

1. 逆接の接続詞・接続助詞

正用例

- ① 難しい日本語の文が読めるようになった。しかし、まだうまく書けない。
⇒ 期待・予想に反する結果
- ② 難しい日本語の文が読めるようになった。だが、まだうまく書けない。
⇒ 読みと書きのずれ
- ③ 難しい日本語の文が読めるようになった。ところが、まだうまく書けない。
⇒ 読めるのに書けないという意外な気持ち
- ④ 難しい日本語の文が読めるようになった。でも、まだうまく書けない。
⇒ 読めるなら書いて当然だと思ふのに書けないという結果
- ⑤ 難しい日本語の文が読めるようになった。(それ)にもかかわらず、まだうまく書けない。
⇒ 読めるなら書いて当然だと思ふのに書けないという結果
に抵抗感や意外だという気持ちがある
- ⑥ 難しい日本語の文が読めるようになったが、まだうまく書けない。
⇒ 期待・予想に反する結果(接続詞より反対の意味は弱い)

①～⑥の文は全て“予想に反する結果”について述べているが、それぞれの接続詞が持つ意味に注意して使い分ける。

1. 逆接の接続詞・接続助詞

誤用例

授業やゼミに出てもわからないことばかりで大変だ。でも、楽しいときもある。

修正例

- ① 授業やゼミに出てもわからないことばかりで大変だ。しかし、楽しいときもある。
- ② 授業やゼミに出てもわからないことばかりで大変だが、楽しいときもある。

後ろに続く内容「楽しいときもある」を強く示したい場合は「しかし」を使い、特に強く示したいわけではない場合には「が」を使う。「でも」は「だから」同様、SNSや友人へのメールなどには良いが、レポートや論文では使わない。

2. 譲歩の逆接文

誤用例

大学で学ぶ目的は、研究の場で専門的な学習をすることであると思う。
しかし、専門的な知識は高校や専門学校でも学習できるだろうという意見がある。

修正例

たしかに、専門的な知識は高校や専門学校でも学習できるだろう。
しかし、大学で学ぶ目的は、研究の場で専門的な学習をすることであると思う。

「たしかに」「もちろん」「一見」「本来」などの副詞と逆接の接続詞・接続助詞を一緒に使う“譲歩”（他者の意見や事実を受け入れていることを示してから自分の意見や事実の結果を述べる）と呼ばれる方法がある。この方法を使うと、接続詞の後に続く内容に、より読み手の注意を引きつけることができる。

練習問題2-1

3-3. 逆接の接続詞・接続助詞



文をよく読み、適当な接続詞を選びなさい。

「しかし」や「が」といった逆接の接続詞・接続助詞は、予想

- ① {a.通りの b.に反する} 結果について述べるときに使われるが、使い方に注意が必要だ。例えば、② {a.しかし b.だが} は書きことばでしか使わない。③ {a.でも b.ところが} は主に話しことばで使われる。結果に抵抗感や意外な気持ちがあるときには④ {a.(それ)にもかかわらず b.が} を使う、などである。

練習問題2-1

3-3. 逆接の接続詞・接続助詞



文をよく読み、適当な接続詞を選びなさい。

「しかし」や「が」といった逆接の接続詞・接続助詞は、予想

- ① {a.通りの **b.に反する**} 結果について述べるときに使われるが、使い方に注意が必要だ。例えば、② {a.しかし **b.だが**} は書きことばでしか使わない。③ {a.でも **b.ところが**} は主に話しことばで使われる。結果に抵抗感や意外な気持ちがあるときには④ {a.**(それ)にもかかわらず** b.が} を使う、などである。

解答・解説

- ① 予想に反する結果について述べるとき
②～④ スライド15参照

練習問題2-2

3-3. 逆接の接続詞・接続助詞



自分の国で外国語を学ぶのと、留学して学ぶのとどちらが良いと思うか、「たしかに」・「もちろん」のどちらかを使って(譲歩の逆接文)あなたの考えを書きなさい。

練習問題2-2

3-3. 逆接の接続詞・接続助詞



自分の国で外国語を学ぶのと、留学して学ぶのとどちらが良いと思うか、「たしかに」・「もちろん」のどちらかを使って(譲歩の逆接文)あなたの考えを書きなさい。

解答例

インターネットが普及した現代では、もちろん自分の国でも生きた外国語を学ぶことができる。しかし、そのことばが使われている環境で学ぶほうが上達が早いのではないかと思う。

解説

「思う」のような意見を表す文末表現については、“7. 補足:論文・レポートでの使用例”を参照。

3-4. 列挙の接続詞

1. 列挙の接続詞

列挙の接続詞とは…複数の事柄を並べる際に使う言葉

	事柄 1	事柄 2	事柄 3
A	まず(は)	つぎに・さらに(は)	そして・さらに(は)
B	最初に・はじめに	ついで・つづいて・そのあと	最後に・おわりに
C	第一に 一つ目に	第二に 二つ目に	第三に 三つ目に

並べる事柄に、時間的な前後関係や順序がある
(順番を入れ替えることができない)

はい

A 事柄の列挙

B 順序性がある事柄の列挙

いいえ

A 事柄の列挙

C 順序性がない事柄の列挙

★順序性がある/ない、どちらの場合にも使える「A」の接続詞が便利！！

1. 列挙の接続詞

誤用例

筑波大学への留学が決まった時、すぐ周りの人たちに報告した。
第一に、両親に連絡した。第二に、大学の指導教官、第三に、友人たちに日本へ行くことを伝えた。

修正例

- ① 筑波大学への留学が決まった時、すぐ周りの人たちに報告した。まず、両親に連絡した。つぎに、大学の指導教官、さらに、友人たちに日本へ行くことを伝えた。
- ② 筑波大学への留学が決まった時、すぐ周りの人たちに報告した。最初に、両親に連絡した。ついで、大学の指導教官、最後に、友人たちに日本へ行くことを伝えた。

順序性がある事柄を並べる場合、順序性がない事柄の列挙の接続詞（表のC）は使えない。

1. 列挙の接続詞

誤用例

わたしが留学先に筑波大学を選んだ理由は三つある。最初に、兄の留学先だったことだ。二つ目に、専門分野の研究が盛んであることだ。最後に、留学生対象の日本語クラスが多数開講されていることも大きなポイントであった。

修正例

- ①わたしが留学先に筑波大学を選んだ理由は三つある。まず、兄の留学先だったことだ。つぎに、専門分野の研究が盛んであることだ。さらに、留学生対象の日本語クラスが多数開講されていることも大きなポイントであった。
- ②わたしが留学先に筑波大学を選んだ理由は三つある。一つ目に、兄の留学先だったことだ。二つ目に、専門分野の研究が盛んであることだ。三つ目に、留学生対象の日本語クラスが多数開講されていることも大きなポイントであった。

順序性がある事柄の列挙の接続詞（表のB）と、順序性がない事柄の列挙の接続詞（表のC）を組み合わせることはできない。

2. 列挙の接続詞の組み合わせ・連続

「まず(は)・つぎに・そして」(表のAの列挙の接続詞)は…

- ・順序性がある(表のB)/ない(表のC)列挙の接続詞と組み合わせ使える(例①)
- ・順序性がある/ない列挙の接続詞と組み合わせ続けて使うこともできる(例②)

正用例

- ① 筑波大学への留学が決まった時、すぐ周りの人たちに報告した。
最初に(表のB)、両親に連絡した。つぎに(表のA)、大学の指導教官、そして(表のA)、友人たちに日本へ行くことを伝えた。
- ② わたしが留学先に筑波大学を選んだ理由は三つある。一つ目に(表のC)、兄の留学先だったことだ。二つ目に(表のC)、専門分野の研究が盛んであることだ。そして三つ目に(表のA+C)、留学生対象の日本語クラスが多数開講されていることも大きなポイントであった。

3. 列挙の注意点

誤用例 テーマ「作文学習の目的」

- ①まず、日本語の研究論文が正確に理解できるようになりたい。つぎに、正しい日本語で文章が書けるようになりたい。これは一番大事なことだ。そして、正しい日本語が使えれば、日本語の論文が読みやすくなると思う。
- ②まず一つ目の目的は、文章を書く力を身につけることだ。つぎに、文章を読む力をつけることだ。そして最後に、修士論文を書くことが必要だ。

修正例

- ①作文学習の一番の目的は、正しい日本語で文が書けるようになることだ。そうなれば、日本語の研究論文も正確に理解できるようになるのではないかと思う。
- ②作文学習の目的は、修士論文を書くために、文章を書く力と読む力をつけることである。

項目の内容が重なっていたり(例①)、項目同士につながりがある場合(例②)は列挙の接続詞を使って項目を並べることはできない。

練習問題3-1

3-4. 列挙の接続詞



下の表のA～Cから適当なものを選び、()に入れなさい。

- ①()or()…順番を入れ替えることができない事柄を並べるとき
- ②()or()…順番に関係ない事柄を並べるとき
- ③()…①と②のどちらの場合にも使える接続詞

	事柄 1	事柄 2	事柄 3
A	まず(は)	つぎに・さらに(は)	そして・さらに(は)
B	最初に・はじめに	ついで・つづいて・そのあと	最後に・おわりに
C	第一に 一つ目に	第二に 二つ目に	第三に 三つ目に

練習問題3-1

3-4. 列挙の接続詞



下の表のA～Cから適当なものを選び、()に入れなさい。

①(A) or (B)…順番を入れ替えることができない事柄を並べるとき

②(A) or (C)…順番に関係ない事柄を並べるとき

③(A)…①と②のどちらの場合にも使える接続詞

	事柄 1	事柄 2	事柄 3
A	まず(は)	つぎに・さらに(は)	そして・さらに (は)
B	最初に・はじめに	ついで・つづいて・そのあと	最後に・おわりに
C	第一に 一つ目に	第二に 二つ目に	第三に 三つ目に

解説 スライド23参照

練習問題3-2

3-4. 列挙の接続詞

★★

以下の作文の【 】の接続詞の使い方が正しければ○を、正しくなければ×を()に書きなさい。

- ①()日本語には文字が三種類ある。【はじめに】ひらがな、【つづいて】カタカナ、【おわりに】漢字だ。
- ②()日本語には文字が三種類ある。【まずは】ひらがな、【ついで】カタカナ、【そして】漢字だ。
- ③()公衆電話の使い方は、【最初に】受話器を持ち、【ついで】硬貨かカードを入れ、【第三に】電話番号を押す。

練習問題3-2

3-4. 列挙の接続詞

★★

以下の作文の【 】の接続詞の使い方が正しければ○を、正しくなければ×を()に書きなさい。

- ①(×)日本語には文字が三種類ある。【はじめに】ひらがな、【つづいて】カタカナ、【おわりに】漢字だ。
- ②(○)日本語には文字が三種類ある。【まずは】ひらがな、【ついで】カタカナ、【そして】漢字だ。
- ③(×)公衆電話の使い方は、【最初に】受話器を持ち、【ついで】硬貨かカードを入れ、【第三に】電話番号を押す。

解答・解説

- ①×…順番に関係ない事柄の列挙にBグループの接続詞は使えない
②○…スライド23参照
③×…BグループとCグループの接続詞は組み合わせて使えない

練習問題3-3

3-4. 列挙の接続詞



あなたが日本語を勉強している理由(二つ以上)を、p23のA(まず(は)…)の列挙の接続詞を使って書きなさい。

わたしが日本語を学んでいる理由は_____つだ。

練習問題3-3

3-4. 列挙の接続詞



あなたが日本語を勉強している理由(二つ以上)を、p23のA(まず(は)…)の列挙の接続詞を使って書きなさい。

解答例

【理由が二つの場合】

わたしが日本語を学んでいる理由は二つだ。まず、日本語で書かれた小説を読むためだ。そして、将来日本企業で働きたいというのがもう一つの理由だ。

【理由が三つの場合】

わたしが日本語を学んでいる理由は三つだ。まず、日本語で書かれた小説を読むためだ。つぎに、日本語で小説を書くことだ。そして、将来日本企業で働きたいというのが最後の理由だ。

3-5. 補足の接続詞

1. 補足の接続詞

補足の接続詞とは…情報を追加するときを使う言葉

接続詞	あと それと	また	さらに	なお	ただし
いつ 使うか	前に述べた内容に似た内容を追加するとき その場で思い付いたことを追加する、という意味が強い	前に述べた内容に似た内容を追加して並べるとき 前の内容と後ろの内容に優先順位はない	前に述べた内容に関連した内容を追加するとき	前に述べた内容を調整(補足・修正)し、よりわかりやすく伝えたいとき 前に述べた内容の補足・修正の程度が低いときは「なお」、高いときは「ただし」を使う	
書/話	主に話し言葉	主に書き言葉	書き/話し言葉	書き/話し言葉	

1. 補足の接続詞

誤用例

メール、手紙、レポートなど、日本語で文を書いている。あと、毎日日記も書いている。

修正例

- ①メール、手紙、レポートなど、日本語で文を書いている。また、毎日日記も書いている。
- ②メール、手紙、レポートなど、日本語で文を書いている。さらに、毎日日記も書いている。

「あと」は話し言葉で使う接続詞であるため、文を書くときには使わない。内容(項目)をただ並べるときには「また」を使い(例①)、日記を書いていることを追加して示したいときには「さらに」を使う(例②)。

1. 補足の接続詞

誤用例

会話で自分の考えが相手にうまく伝わらなかったと思ったときは、文章で伝えるといい。一方、その場合は、文の内容に合う言葉遣いが必要になる。

修正例

会話で自分の考えが相手にうまく伝わらなかったと思ったときは、文章で伝えるといい。ただし、その場合は、文の内容に合う言葉遣いが必要になる。

「一方」は対照的な事柄を並べるときに使う接続詞であるため使えない。前に述べた内容を調整し、わかりやすく伝えようとしているこの文の場合、「ただし」を使って文をつなぐ。(この文は調整の程度が高いため「なお」ではなく「ただし」が適当。)

練習問題4-1

3-5. 補足の接続詞



適当な接続詞を選びなさい。

- ①三位以内の選手にはメダルが贈られる。{a.あと b.また}賞金ももらえるそうだ。
- ②納豆は最高の健康食品だそうだ。{a.それと b.ただし}それだけを食べれば良いというわけではない。
- ③食事代に加え席料を払った。{a.さらに b.なお}チップも渡した。

練習問題4-1

3-5. 補足の接続詞



適当な接続詞を選びなさい。

- ①三位以内の選手にはメダルが贈られる。{a.あと b.また}賞金ももらえるそうだ。
- ②納豆は最高の健康食品だそうだ。{a.それと b.ただし}それだけを食べれば良いというわけではない。
- ③食事代に加え席料を払った。{a.さらに b.なお}チップも渡した。

解答・解説

- ①「あと」は主に話しことばで使われるため、作文には使わない方がよい
- ②内容の追加ではなく、調整をしているため「ただし」が適当
- ③調整ではなく、内容を追加しているため「さらに」が適当

練習問題4-2

3-5. 補足の接続詞、まとめ



- ①日本語の作文能力を高めるために何が必要か(何をすべきか)箇条書きしなさい。* 箇条書き…ことばや短い文を並べて書く

- ②箇条書きしたものを補足の接続詞を使ってまとめなさい。

- ③その他の接続詞も使い、300～400字程度の作文を書きなさい。

練習問題4-2

3-5. 補足の接続詞、まとめ



- ①日本語の作文能力を高めるために何が必要か(何をすべきか)箇条書きしなさい。* 箇条書き…ことばや短い文を並べて書く

語彙を増やす、漢字、話し言葉と書きことばの使い分け

- ②箇条書きしたものを補足の接続詞を使ってまとめなさい。

語彙を増やさなければならない。また、漢字も必要だ。

さらに、話し言葉と書き言葉の使い分けについても学ぶ必要がある。

- ③その他の接続詞も使い、300～400字程度の作文を書きなさい。

日本語の作文能力を高めるためには何が必要だろうか。まず、文を書くためには語彙を増やさなければならない。また、会話と違い、適切な漢字を使うことも必要になるが、言葉を並べるだけでは文を作ることができない。読み手に内容を正しく伝えるため、読みやすい文を書くためには、さらに、話し言葉と書き言葉の使い分けや段落構成についても学ぶ必要がある。(ここまでで166字)

3-6. おわりに

以下の3点に注意をしながら接続詞を使いましょう！

- ✓ 文体や内容と接続詞のバランス(話し言葉か書き言葉か、主観的な内容か客観的な内容か)
- ✓ 内容のつながり(前後の内容をつなぐのに適当な接続詞か)
- ✓ 接続詞の必要性(本当に必要な接続詞か、使いすぎていないか)

◆クリエイティブ・コモンズ・ライセンス による公開について

この教材は「クリエイティブ・コモンズ・ライセンス」(<https://creativecommons.jp/>)に従って以下のように公開しています。

表示—非営利—継承



「原作者のクレジット(氏名、作品タイトルなど)を表示し、かつ非営利目的に限り、また改変を行った際には元の作品と同じ組み合わせのCCライセンスで公開することを主な条件に、改変したり再配布したりすることができるCCライセンス。」

著作権

筆者の木戸光子・加藤あさぎ・小池康・平形裕紀子・石川早苗・君村千尋が保持します。

使用許諾

個人の学習や授業での利用の場合は、自由にお使いください。使用する時は出典の明記をお願いします。また、改変や再配布するときも、出典を明示してください。

出典:「留学生のための日本語作文ガイドブック」木戸光子・加藤あさぎ・小池康・平形裕紀子・石川早苗・君村千尋、2022年
<https://nihongosakubun.jimdoofree.com/>

営利目的では使用しないでください。その他、使用について質問があれば【連絡先】にお問い合わせください。